

2024年3月5日 千葉大学アカデミック・リンク・センター
2023年度第5回ALPSセミナー
「対話の継続としてのアカデミック・アドヴァイジング」
参加者アンケート（オンライン：Zoom）
当日参加者数： 67名 アンケート提出数： 30件

本セミナーについて、参加者の皆様から寄せられたご意見・ご感想を以下に掲載いたします。なお、原則原文のまま掲載しておりますが、個人名・組織名が特定できないよう事務局で若干の調整をおこなっておりますことをご了承ください。

1. 本日のセミナーの満足度はどの程度ですか。

- ・満足した 21名
- ・まあ満足した 9名
- ・どちらとも言えない 0名
- ・やや不満である 0名
- ・不満である 0名

2. 1. でそのように回答した理由をお書きください。

満足した

- ・ 具体的に言葉で示していただき、とても勉強になりました。
- ・ アカデミックアドバイジングをなんとかやりたいと考えながらも、方法や先進事例もしなかったの
で、とても参考になりました。
- ・ 非常に素晴らしい取り組みをご紹介いただけた。一部でもよいので、本学でも導入したい。
- ・ 講演者の説明内容が良かった
- ・ 担任制を敷く大学が多いが、別の意味で新鮮でした。
- ・ ICUのアカデミック・アドバイジングの仕組みをよく理解できたため。
- ・ とてもいい資料とご説明でしたので。
- ・ アドヴァイジングは答えを与えることではない。対話を通して学生が考えを整理し、意思決定すること
をたずけること。という最後のまとめに納得しました。
- ・ 本学でも課題となっている体系的なアドヴァイジングについて、参考になりました。ありがとうございました。
- ・ アカデミックアドバイジングについて、具体的な事例を含めて学ぶことができたから。
- ・ 具体的な対応が分かった。本学では学生の主体性が欠如していると感じた。
- ・ 大変分かりやすく大卒から具体例まで見せてくださったのが良かったです。
- ・ 学生が尊重されていることがよく理解できました。
- ・ 具体的な取組みをわかりやすくご紹介頂いた点、新しい発見が多かった点で非常に満足でした。また、
貴校のメジャー制、(+マイナー制/ダブルメジャー制)が上手くいく秘訣なのだと感じました。
- ・ 各部の活動、連携、具体のイメージが体系的にまとめられていて良く分かりました。
- ・ 様々な部署で連携してアドヴァイジングする仕組みなど、参考になりました。
- ・ ICUの手厚い支援に感銘を覚えた。

まあ満足した

- ・ ICUの学生支援について良くわかりました。また、随所にシミュレーション動画があつてとても分かり
易かったと思います。
- ・ 興味深い内容だった。
- ・ アドヴァイジングについて、教員・職員・学生の連携・協同により、よりきめ細やかな学生支援ができ

ている事例を確認できたため。

- 3年間教員は変わらないとのことですが、学生が苦手な先生だった場合、変更はあるのでしょうか？本学の場合、毎年アカデミック・アドバイザー（担任）は変わります。変わらない場合もありますが。

3. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- 「教えるのではなく質問する」、「時間、場所、話し相手」
- 内発的に取り組まれて、ノウハウを蓄積されているのだなあと感じました。
- アドバイジングの取り組みは重要である。
- 現在は、多くのサポートを学生にする必要があることです。
- 最初の学生との信頼関係構築の重要性はとても重要だと思いました。
- 2でも記載しましたが、大学としての体系的なアドヴァイジング体制についてです。
- アカデミックアドバイジングというものについて。また今日的な重要性について、認識した。
- アドヴァイジングが学生の主体的な決定を助ける
- 学生が学生を支援するピア・サポートが有償で21名で行っていると、具体的に聞いたことが良かったです。
- 大学のミッションと同期していること、先生方もよく話されているのかなと感じました。
- 学生が自ら話すことで主体的なアカデミック・プランニングが実現するというコンセプトに納得致しました。また、アドバイスするという言葉の定義を頂き、非常にじっくりきました。
- 組織全体で支援する仕組みができていることに驚きました。学生の学力レベルの高さがあってのことのように思える部分もありますが、そのような違いを言い出したらきりがないので、点ではなく面（組織全体が網の目のように）で学生を支援することが学生のためだけでなく、教職員の心身の負担軽減のためにも必要であることを職場に伝えていきたいと思いました。

4. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ICU型でない、職員が主体となるアカデミック・アドバイジングのグットプラクティスについて
- 頻度と導入方法について気になった点がありました。
頻度→①全員に每期開始時にアドバイスするとのことですが、この頻度が良い、という点はありませんか。
導入方法→②APSやIBS、教員アドバイザーと、複数のチャンネルがあることによる良さをもっと知りたいと思いました。③大規模校ではAPSとIBSに近い制度か、IBS制度のみか、という体裁が多いように思うのですが、教員アドバイザー制度を実現させるうえでの秘訣、協力依頼について知りたいと思いました。

5. 大学における教育・学修支援の在り方についてのお考え、教育・学修支援のために必要と思う資質・能力、また、教育・学修支援のご所属先での取組事例やご存知の特徴ある事例などがあればお書きください。

- 今後は、多様な学生への対応がさらに重要となる。
- 本学では、問題のある学生のみ抽出する面談を行っていると思った。指導のイメージが強いため、学生の自主性が養われない。

6. 本日の内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- いつも運営ありがとうございます。
- 様々な支援をされているのでとても勉強になりました。
- たいへん有意義な機会を設定くださり、ありがとうございました。

- ・ もう少し那須先生のお話を伺いたかったです。また、修学支援を担当しているので、杉田さんの部署の内容も、もう少し伺いたかったです。
- ・ 卒業生です、私はうまく活用する力量がなかったですが、本当に大切にされていたのだなと感じました。ありがとうございました。
- ・ 貴重なお話を頂きありがとうございました。
- ・ 対話、信頼形成、答えを決めるまでのサポート。アドバイザー側が決めない。否定しない。カウンセリングマインドをもつ必要なのかと思います。現場でも希望や目標、悩みを持つ学生に丁寧に寄り添いサポートする態度とスキルのバランスが大事かと思います。

7. ご所属について、該当するものを選んでください。

- ・ 千葉大学に所属 7名
- ・ 千葉大学以外に所属 23名

8. 身分について、該当するものを選んでください。

- ・ 学生 0名
- ・ 教員 8名
- ・ 大学職員(図書館職員を除く) 15名
- ・ 図書館職員 6名
- ・ その他 1名

9. 千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けします。「登録しない」を選択してください。)

- ・ 登録する 8名
- ・ 登録しない 22名